

はぐくもう

人権啓発シンボルマーク

2005

2/15 No.27

可見市人権啓発センター



シャンソンを歌う「遠藤伸子」さん

ぬくもりコンサート

コンサートリーダー（推進員） 渡辺 町子

人権啓発センターでは、ぬくもりのあるまちづくりをめざして諸活動に取り組んでいます。私たちの日常生活を支えている「人権」について考える活動の一つとして、「講演会」を従来は行ってきましたが、今年度は、「コンサート」を開くことになりました。

出演者がシャンソン歌手の「遠藤伸子」さんであることから、華やかなステージを想像してポスターのサブタイトル、来場の皆さんが参加できる方法、舞台装置や照明はどのようにするか等の話し合いを重ねていきました。「花フェスタ記念公園」や「春里苑」へ出演の遠藤さんの歌声を聞きに行ったり、岐阜市でコンサート当日の内容について具体的な打合せを行うなど、一つ一つの課題を解決していきました。

十月に入り、文化創造センターの方々との打合せをしました。そこで、担当者の舞台に対する真摯な姿勢は、私たちの考えを遥かに越えるものでした。初めてのコンサートがはつきりとした実像となって、身の引き締まるのをひしひしと感じました。

コンサート当日の午前中は、パリの街角をイメージする大事な舞台装置となった手作りの「ガス燈」や「ベンチ」、大きな照明器具の搬入があり、ピアノも所定の位置に収まりました。開演まじかになり、マイクの音量テストや照明の指示が次々に出され、ピーンと張り詰めた空気の舞台裏です。遠藤さんの心に響く歌とトーク、優しく包み込む錦城さんのピアノ演奏、そして心を通わせ合ってくださった会場の皆さんや関係者の心が一つになって解け合い進んでいきました。皆さん、どうもありがとうございました。

めぐもり コンサート

二〇〇四、十二、十五
文化創造センター

ほぼ、満席に近い状況でのめぐもりコンサートでした。会場は終始とても盛り上がりつつありました。参加した多くの方から、「とても感動しました。涙が出ました。」との感想をいただきました。この要因は、遠藤伸子さんのシャンソンが素晴らしかったこと、それにも増して遠藤さんの生きざまそのものがステージで表現されたことによるものだと思います。

内容は「夢は実現します」と「夢のご恩返しに」の二部構成でしたが、夢の実現という目標をもち、その目標に向かって真摯に努力しつづけた遠藤さんの生き方と、夢が実現した後、感謝の心で歌い続けるその姿勢、借り物でない本物の姿が観客の心をとらえたのです。私たちの心を魅了したその遠藤さんのステージを概略ながら振り返ってみてみたいと思います。

第一部

☆パリシリーズ（アコーディオン演奏で）

皆さん、「ボンジュール！」こんにちは、遠藤伸子です。天国の母さん伸子です。今日は素晴らしいコンサートに招待を受けました。胸の中で感じためぐもりを母さんも一緒に聴いて、めぐもりで包んでください。



☆セシボン

人権啓発センターの会長さん、舞台上上がり、遠藤さんとダンスを始めます。とても調子が出ていました。歌詞の中の「セシボン」の声がとても冴えていました。



敗戦が濃くなった昭和十九年私は岐阜の地で生まれました。父さんは私を置いて満州へ行き十一月に亡くなりました。母さんは私をとて苦勞して育ててくれましたね。母さんは、私が十一歳になった時、後から読みなさいと言って手紙をくれました。それは、遺書で、その中には「…幸せは自分の心の中に無い出すものですよ…」と書いてありました。母さんは、その一

週間後、帰らぬ人となりました。
☆ラストダンスは私と

私は、四十七歳になった時、運命が変わるようなチャンスに遇いました。主人と私の共通の友達の紹介で、会場へ行ったら「十年後の私」と書いてありました。「十年後、どうなっているといますか」の問いに「私はニューヨークのカーネギーホールに立っています」と答えました。講師の先生が、「夢は一步を歩き始めました。夢は必ず実現します。」と言いました。



☆ろくでなし

母さん、私は思いました。まず歌手にならないといけない。努力を続け、ライブハウスのオーディションで、「愛の讃歌」を歌い、合格しました。入ったと

きから最年長、それでも嬉しかった。何倍も努力しなくてはならないの。会社での食事を半分にして、屋上で傘をさして練習したの。カーネギーホールが近くなるように。一生懸命思っていたら何でも乗り越えられるのね。いつかレギュラーになっていたの。日仏親善コンサートをさせてもらったの。夢が近づいてきた思いがします。



☆恋心

歌手になって八年目、いつになつたら歌えるの。音楽の殿堂カーネギーホールで。私は焦りました。大使館や関係方面にくらあたってでも全て門前払いでした。

「念ずれば通ず。」二〇〇〇年三月十一日遂に通じました。夢はもった時がスタートです。ど

うか夢をもち、生きて良かった人生を私と過ごして欲しいと思います。

☆百万本のバラ



第二部

☆ピアノ演奏

・冬のソナタ

・風と星の短冊 (オリジナル曲)

第二部は、錦城真理子さんのピアノ演奏で始まりました。二曲の演奏でしたが、リズムに乗り、軽快なタッチの曲でした。特に二曲目は、錦城さんの作曲によるもので、自信にみなぎった見事な演奏で、私たちの心を和ませてくれました。



☆全員合唱

・ふるさと

・上を向いて歩こう

母さん、とても苦しい一時を過ごしています。夢の実現は一人ではできないことが分かりました。家族、周りの人の応援や多くの人々の応援、努力が必要です。夢が実現したら、自分だけで喜んではいけません。ご恩返しと思えました。自分でできる精一杯のことを。ポリープができ、声が出なくなることもありましたが、手術をして成功しました。

☆生きる

「人は生まれ、そして育ち、やがて年老い、いつかは消えてゆく…」

明日を見つめる自分の姿は、生きることに大きな意義を教えられます。

本日は、本当にありがとうございました。皆様、ぬくもっていただけましたでしょうか。ここで私から、心をこめて母さんもこだわりの曲、「愛の讃歌」をお届けします。(アンコール曲)



平成十六年度
可児市人権啓発標語
審査結果

今年度は、応募作品の総数が一五七点ありました。標語審査委員会にて審査の結果、次のようになりまして、ご協力ありがとうございました。

【最優秀賞】

忘れない 人のぬくもり

思いやり (中野ゆかり)

【優秀賞】

摘みとろう差別の芽

咲かせよう人権の花

(廣田 泰子)

手を取り合い 皆で育てる

豊かな心 (寺本多美子)

人権にうちの子 よその子

かき根なし (坂井 えみ)

何気ない言葉にひそむ

差別の根 (首藤 聡美)

【入選】

なくしたい どんな小さな

差別でも (山内 亜子)

手をかせば 老いのぬくもり

伝いくる (中畑 晴子)

認め合おう 一人一人の

「自分らしさ」(野村 沙世)



その言葉 その一言が

思いやり (渡辺 美嘉)

女と男 かがやくための

支え合い (伊佐治 晃)

子の為と しつけと虐待

紙一重 (服部 砂織)

お互いを 支え合って

人となり (岩崎 千宏)

合わせよう 目と目

つなごう手と手

(板井 弘美)

考えよう

差別をただけされている

(安藤 教富)

思いやりの種

一杯蒔こう・咲かせよう

(保坂美代子)

意地悪を するとあなたに

はねかえる (岡崎 沙耶)

(小学校六年生)

「えせ同和行為」とは

えせ同和行為とは、同和問題を口実にして企業や金融機関、官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為をいいます。この行為は、誤った意識をうえつけ、同和問題の解決を阻害する大きな要因となります。

このような「えせ同和行為」が横行すれば、同和問題に関するあやまった差別意識を増幅します。さらに政府、地方公共団体、民間運動団体が永年にわたって努力してきた同和問題解決のための人権教育や啓発の効果覆すものであります。「応じることができない」と判断したときは、毅然とした態度で要求を断ることが大切です。

なぜなら「えせ同和行為は」

「同和問題はこわい問題である」というような、誤った認識につけこんで行われるからです。同和問題について正しい知識を持つていれば、つけこまれることがなくなりません。

(県発行「許さない！えせ同和行為」より抜粋)

「人権出前講座」について

要請があれば、当センターから人権啓発の出前講座に出向きます。幼稚園・保育園、小学校の家庭教育学級、各団体、中学校の職員研修会、会社の新入社員研修会等です。事前に相談していただければ、内容に即した研修会になると思います。(無料です)

編集後記

「心にとどけよう 愛の歌を」をテーマに、ぬくもりコンサートを行いました。きっと、参加者一人一人の心にシヤンソンのぬくもりがとどいたと思います。遠藤さんの想像を絶する努力があったからこそ、カーネギーホール的舞台に立てたのだと思います。「自分の力だけでは決してできない。多くの人の支えがあったからです」と感謝の気持ちを謙虚に語られるその姿勢に敬服しました。